

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	各種拠点(公民館、小学校、校区社協等)を通して加入・対象世帯に回覧			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー		無	
	人数		校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		該当者が思い浮かばない	
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設の事業者側のキーパーソンが公民館の役職、地区社協の役職、民児委員などを引き受けている地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成している	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業で運営や企画を担ってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	校区内に小サロンの設置を検討している		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

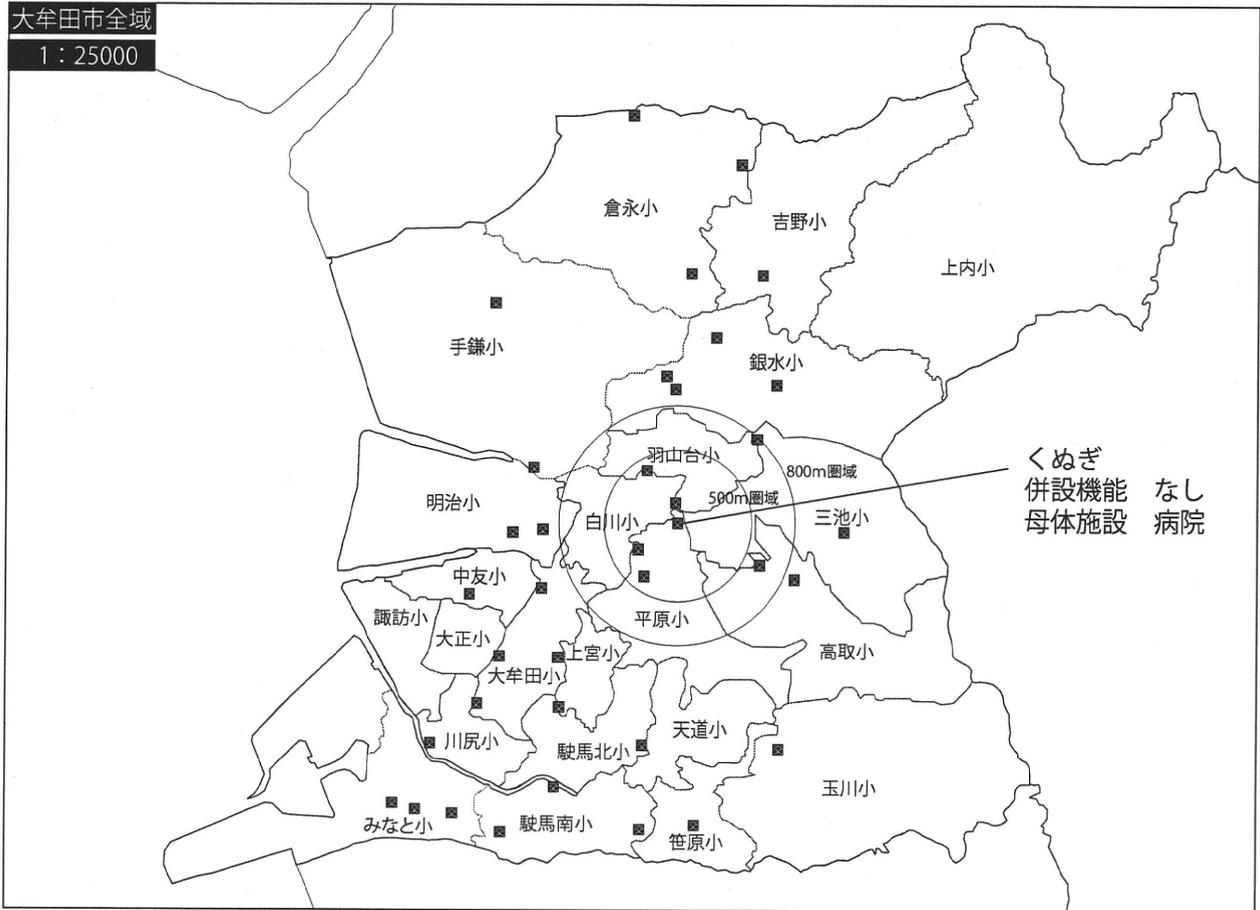
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携があまりない			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		無	

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設での事業に対する法人トップの考えや方針について 未回答			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	特にありません。			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	特にありません。			

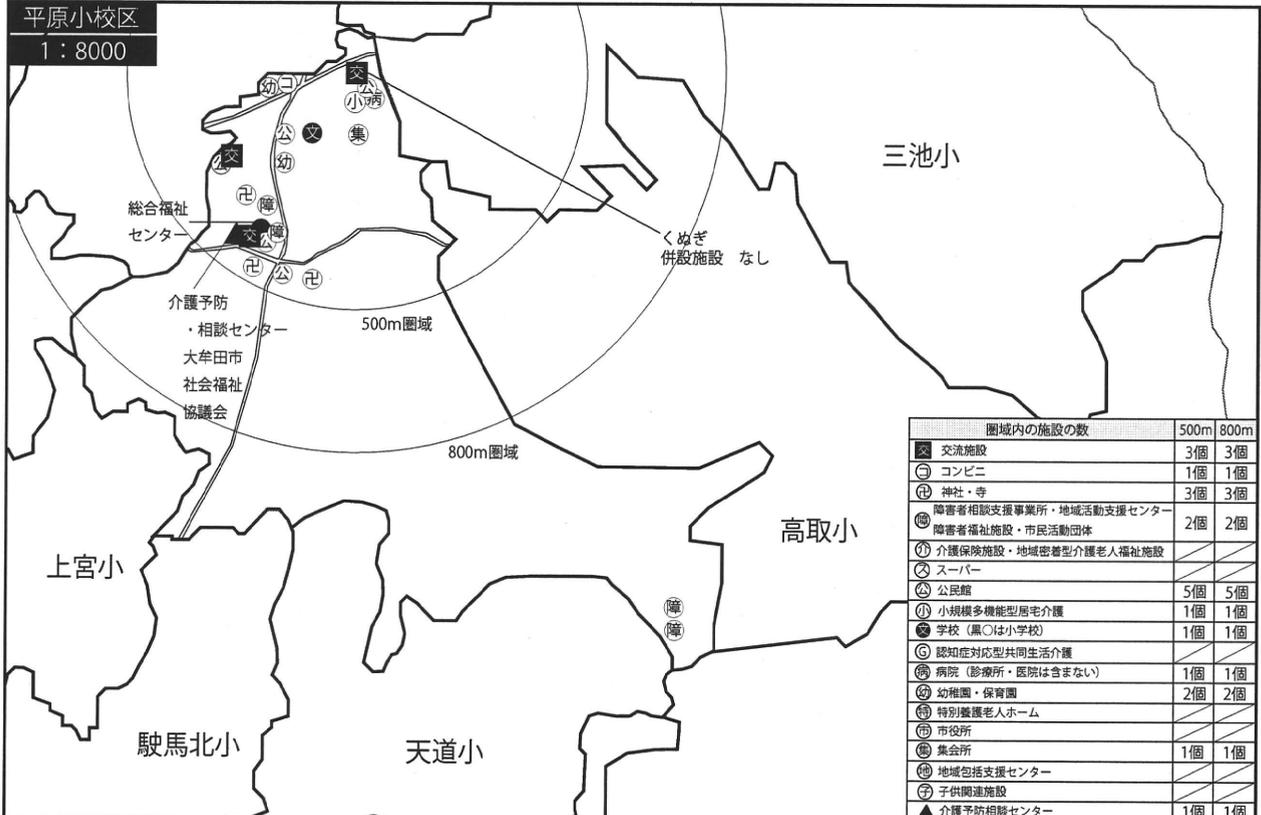
大牟田市全域

1 : 25000



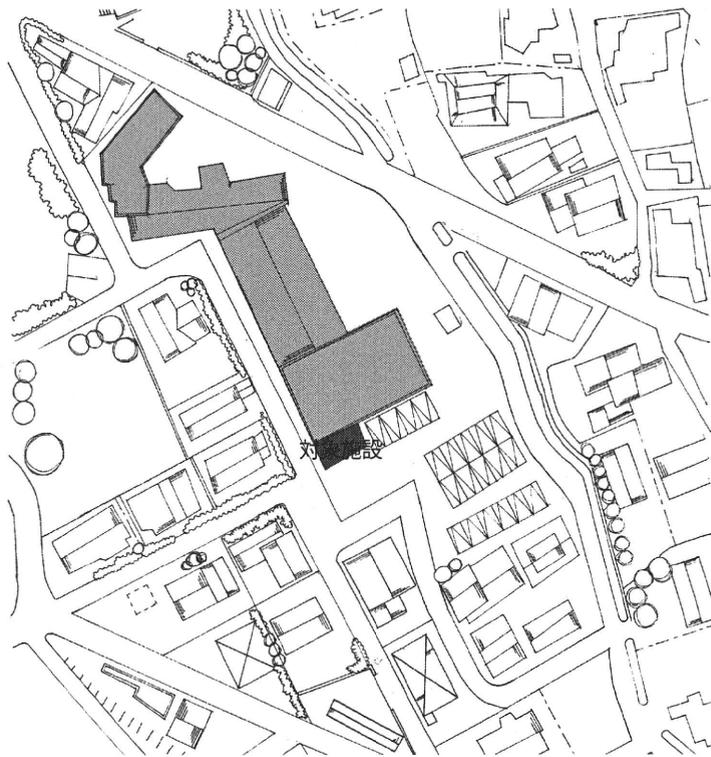
平原小校区

1 : 8000

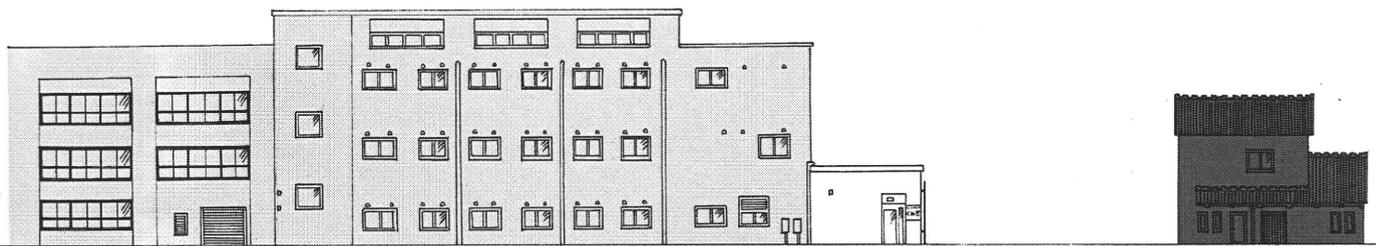


圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	3個	3個
コンビニ	1個	1個
神社・寺	3個	3個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害者福祉施設・市民活動団体	2個	2個
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー		
公民館	5個	5個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	2個	2個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所	1個	1個
地域包括支援センター		
子供園遊施設		
▲介護予防相談センター	1個	1個

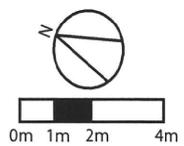
人口	5263人	老人クラブ加入率	9.8%
65歳以上の高齢者数	1703人	公民館加入率	42.2%
単身高齢者世帯数	525人	投票率	57.6%



くぬぎ 配置図



くぬぎ 南西側立面図 1/400



地域交流スペース面積：53.08㎡

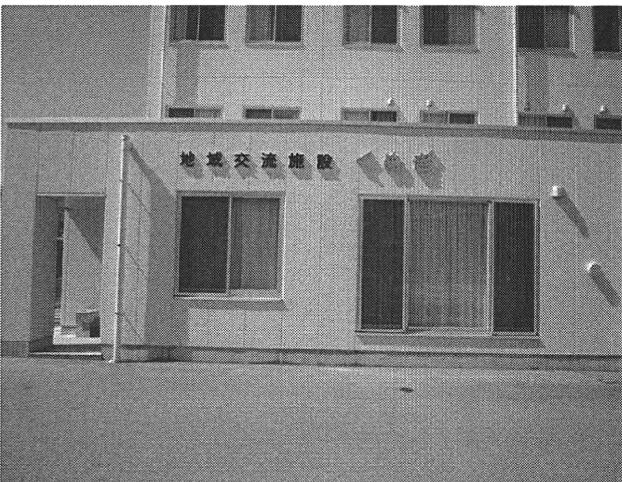
くぬぎ平面図 1/200



①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点外観



④本体外観



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	平原校区	交流拠点名	地域の縁がわ ひらばる
		法人名	(NPO)コレクティブ

【施設概要】

1.	開設年月	平成20年6月開設		
2.	整備手法	既存建物を転用して整備		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1050万円(うち補助金額750万円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	無		
	有の場合:交流拠点と同一敷地内あるもの			
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	どちらとも言えない		
	その理由:			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	2名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	専任	社会福祉士	
	2人目	兼任	社会福祉士	小規模多機能との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:52.7万円	支出:130万円	
	交流拠点の家賃	家賃あり 5.6万円/月		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合		
	14	518	1489	2:11:0:1		
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動		
	3:11	1:3:10		1:7:6		
	定期的な活動が数多く開催されている。市からの委託事業であるよかば一い体操に加えて、法人主体の活動としては、健康相談教室や認知症サポート教室などの健康関連事業や、クッキーをつくる、酒の肴教室、子育てママさん/tea timeなど料理関係の事業が実施されている。地域住民主体の活動としては、子供の居場所や誰でも勉強会など、放課後の子供を支援する事業が行われている。					
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。				
	開館曜日	火～土		開館時間	10:00～16:00	
	開館時の職員の常駐場所	地域交流施設内				
8.	毎月の延利用者数	約240名	利用者数の増減	利用者数は横ばい		
	大牟田市委託事業(よかば一い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している		
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無		
	名称)					
	独自の交流拠点事業			実施している		
	対象者)多世代向け		参加形式)事前登録不要			
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可		
	不定期の利用回数			数回/月		
	常時運営している有料のレストランや食事処			有		
	提供内容	喫茶のみ		利用者数	約3～4名	
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			有			
提供内容	喫茶有料(コーヒーのみ)		利用者数	約3～4名		
ボランティアの参加の有無		有	延ボランティア数	4名		
送迎の有無			無			
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有			

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能各種拠点(公民館、小学校、校区社協等)を通して加入・対象世帯に回覧			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	未回答	校区活動経験	経験豊富
	校区での立場	公民館館長、校区社協長、民生児童委員、ボランティア、一般住民		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携ができていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設として公民館に加入している 地域交流施設の事業者側のキーパーソンが公民館の役職、地区社協の役職、民児委員などを引き受けている 地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無			作成している
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	広報誌などを通じて、ボランティアや運営に関わる人を募集している。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

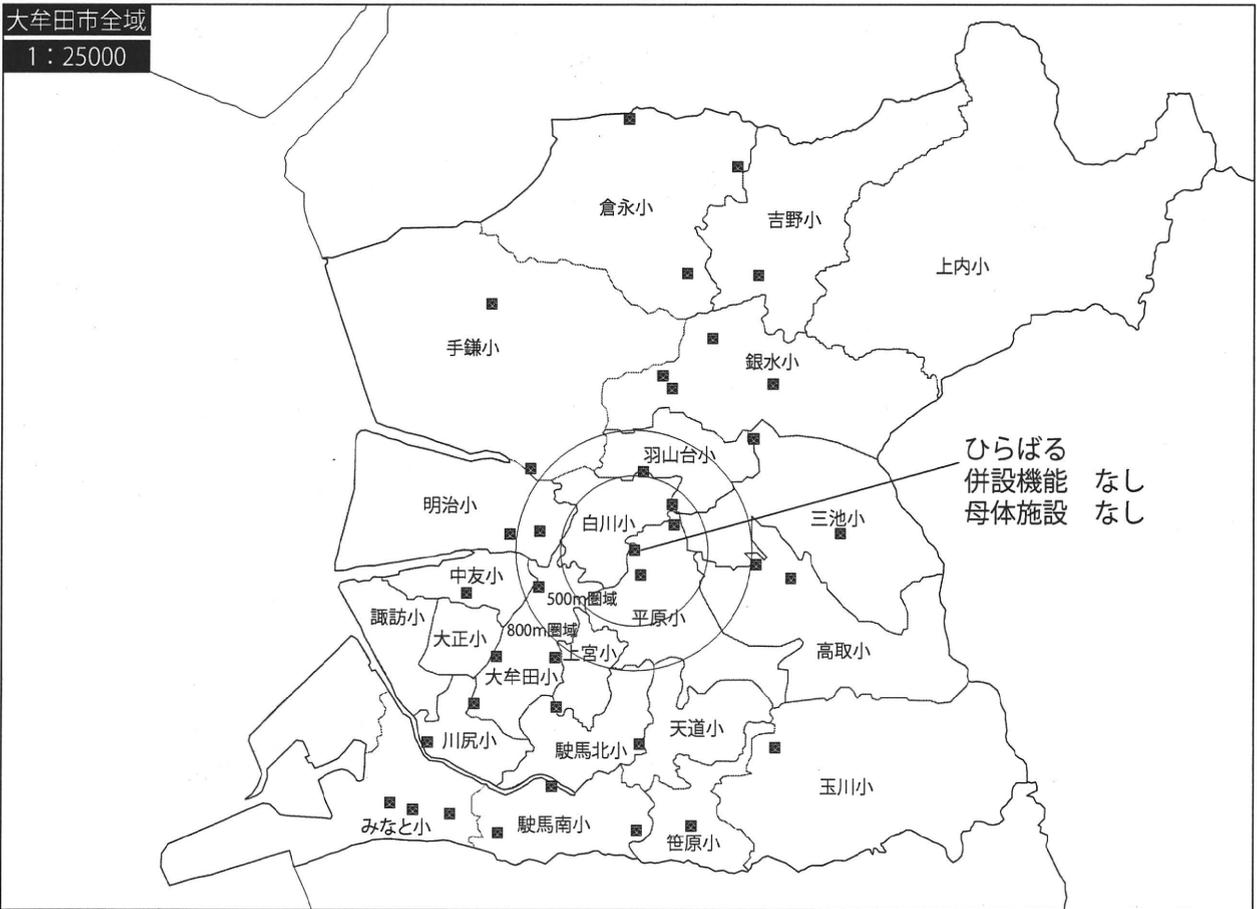
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携があまりない			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			有
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか 地域の方からの情報を、介護予防・相談センターへつないだ。			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上にのみ寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	役所主導では、住民は受け身になってしまう。財政的・人的支援は必要だが、それ以外は控えてほしい。			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

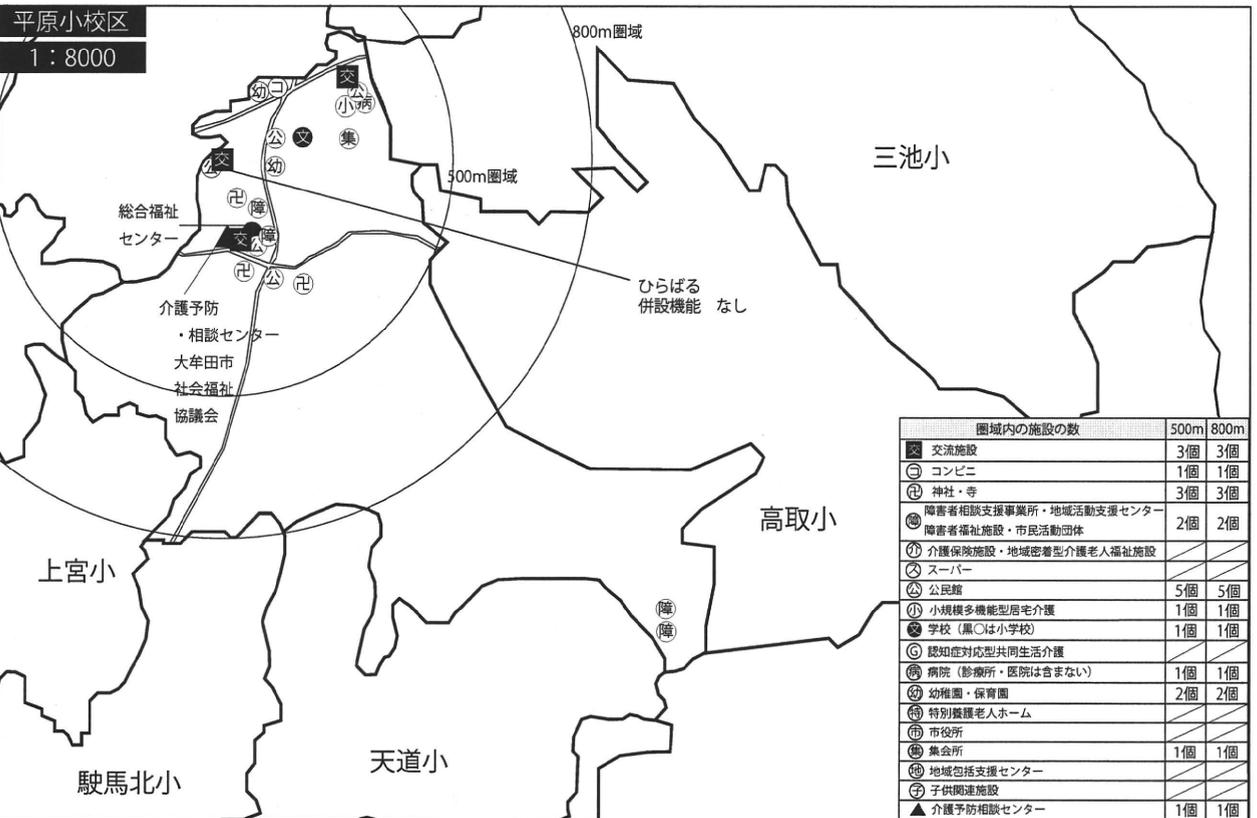
大牟田市全域

1 : 25000



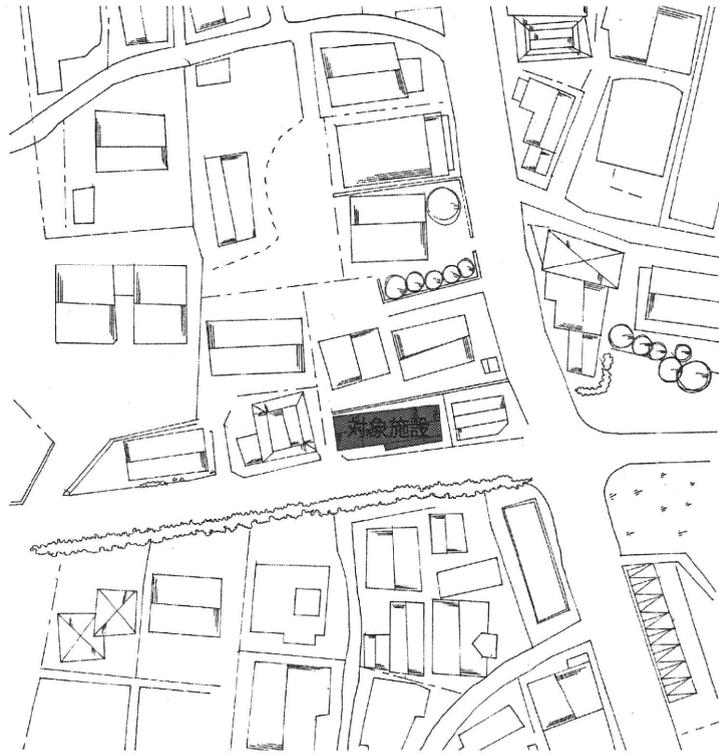
平原小校区

1 : 8000



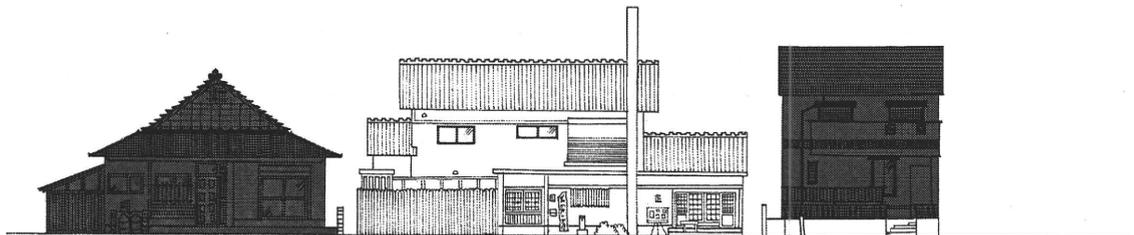
圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	3個	3個
コンビニ	1個	1個
神社・寺	3個	3個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害者福祉施設・市民活動団体	2個	2個
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー		
公民館	5個	5個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	2個	2個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所	1個	1個
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター	1個	1個

人口	5263人	老人クラブ加入率	9.8%
65歳以上の高齢者数	1703人	公民館加入率	42.2%
単身高齢者世帯数	525人	投票率	57.6%

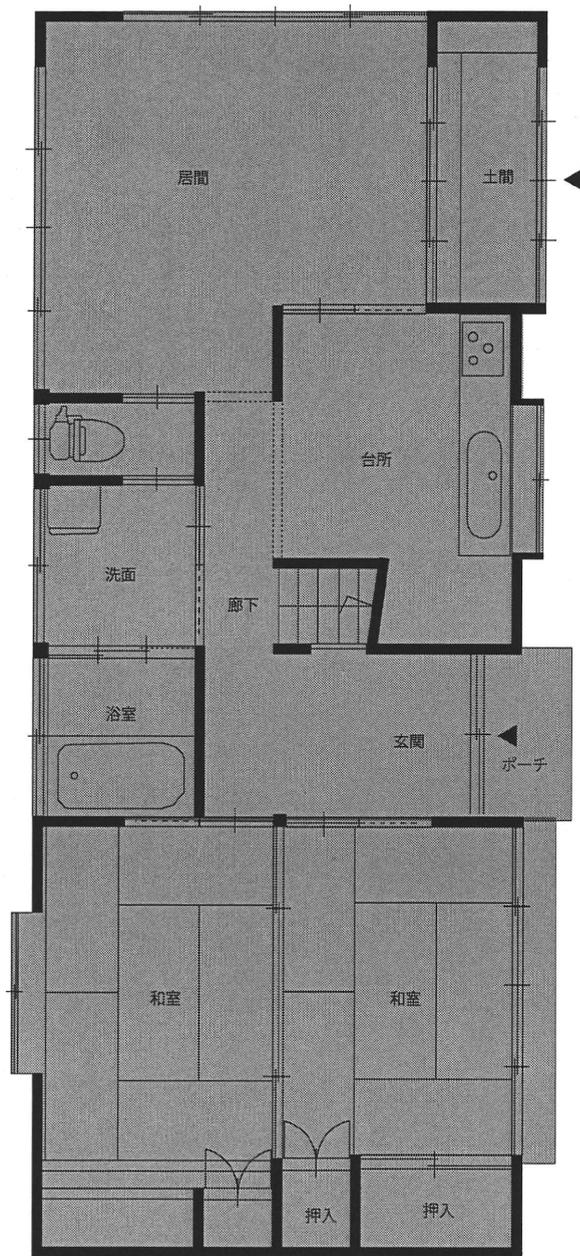


1:900

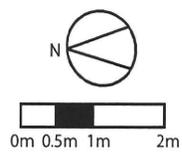
ひらばる 配置図



ひらばる 南側立面図 1/400



地域交流拠点



地域交流スペース面積：100㎡

ひらばる平面図 1/100



①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点外観



④交流拠点外観



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	平原校区	交流拠点名	地域交流センターたんぼぼ
		法人名	(社福)あらぐさ会

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年1月開設	
2.	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1200万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか その理由:バス停に近く、ショップ、レストラン、弁当事業有	障がい者就労・自立支援センター 訪れやすいと思う	
3.	運営に関わる主なスタッフ数	4名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目	専任	保母、教諭
	2人目	兼任	無
	3人目	兼任	栄養士、介護福祉士
5.	平成21年度の運営費	収入:247万円	支出:120万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合	
	27	178	2447	0:12:15:0	
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動	
8.	20:7	19:2:6		5:14:8	
	定期的な活動に加えて、不定期な活動も数多く実施されている。定期的な活動としては、法人主体によるお花教室や料理教室などに加えて、住民主体による点字、手話、習字などの活動が行われている。特徴的な活動としては、自閉症や聴覚障害の方への活動が実施されている点にある。				
	7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～金 土 行事(バスハイクなど)	開館時間	9:00～16:00	
	開館時の職員の常駐場所	事務所、併設施設			
	毎月の延利用者数	約299名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している	
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施していない	
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無	
	名称)瓦町ゆう遊クラブ、八本町西老人会木曜会の主催でたんぼぼを会場として実施されています。				
	独自の交流拠点事業			実施していない	
対象者)高齢者向け	参加形式)事前登録制・事前登録不要双方のともあり				
住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可		
不定期の利用回数			未回答		
常時運営している有料のレストランや食事処			有		
提供内容	食事+喫茶	利用者数	約20名/日		
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			有		
提供内容	喫茶有料	利用者数	約5～10名/日		
ボランティアの参加の有無	有	延ボランティア数	約16名/月		
送迎の有無			無		
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有		

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度 37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う		
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している
	弁当、配食の中に入れてたり、直接配布、回覧板、レストランのお客様に配布		
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー		有
	人数	約4名	校区活動経験
	校区での立場 公民館館長、校区社協長、民生児童委員、老人クラブ		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況 37の地域交流施設のなかでは、連携がよくできている交流拠点だと思う		
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること		
	地域交流施設の事業者側のキーパーソンが公民館の役職、地区社協の役職、民児委員などを引き受けている 地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている		
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること		
	広報誌などを通じて、ボランティアや運営に関わる人を募集している。 事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。		
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について		
	設置の有無	校区内に小サロンを設置している	
	小サロンの数	1件	場所
	開催数: 1サロンにつき月1回、15~20人程度が参加		未回答 運営主体: 校区住民

【地区住民のポテンシャル】

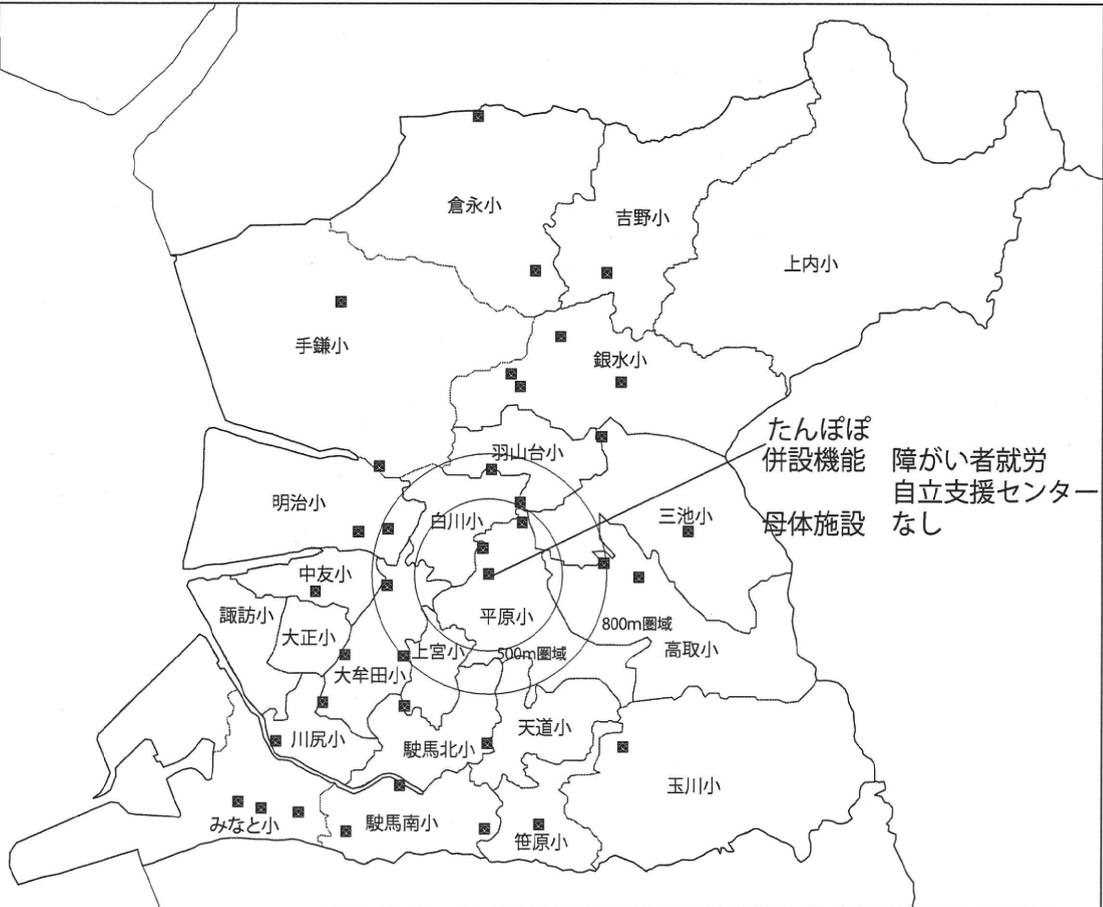
17.	地区校区の住民活動について 22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である		
18.	校区の住民活動について		
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある		
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		有
	有の場合: どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか 朝から何も食べていないから何かを食わせてくれと近所のおばさんが来られました。レストランで食事を提供後、お金を持っていないと言われ社協に連絡し、弁当の配食を行いました。以前からバスハイクの集合時間が分からなくなったりされていたので、認知症がでているかなあと考えていました。社協からヘルパーが来られるようになりました。		

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか		
	無	有の場合	
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。		
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について		
	交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。		
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望		
	未回答		
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望		
	未回答		

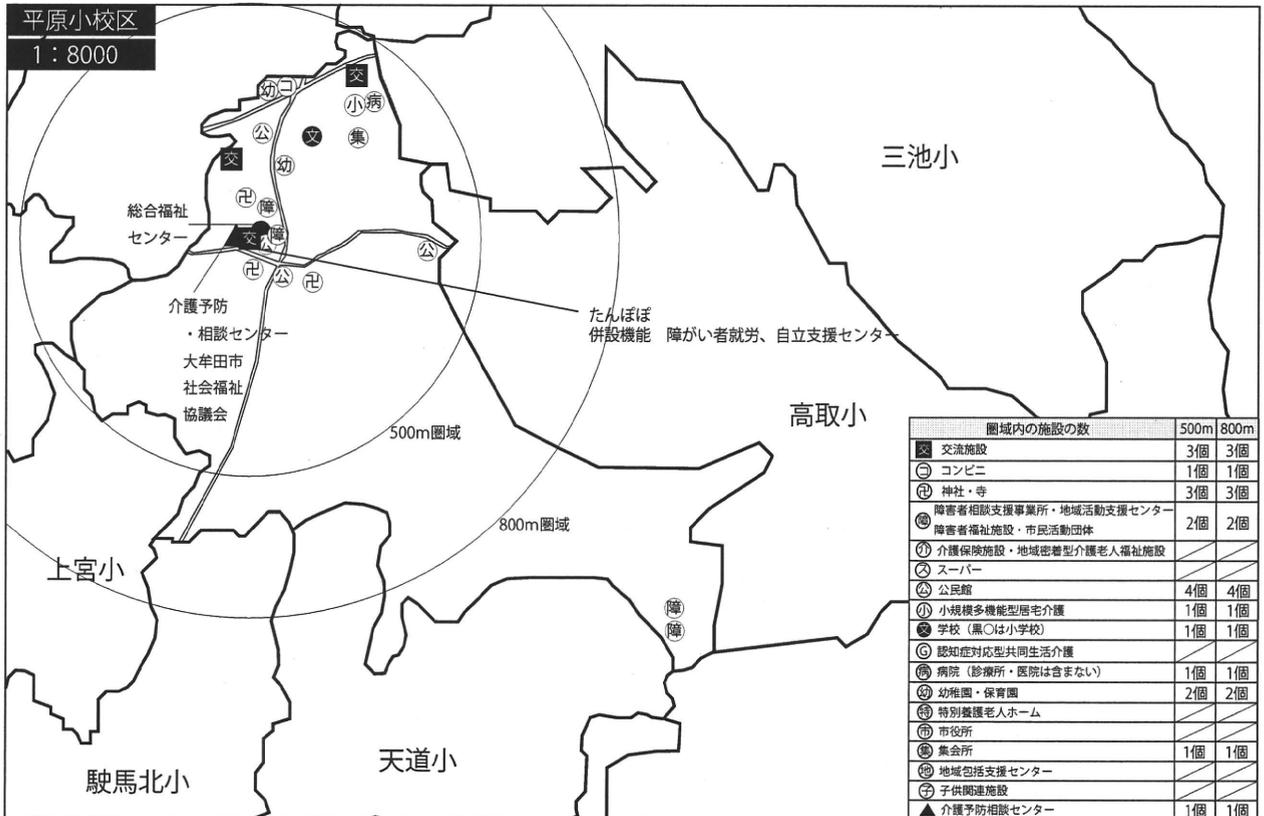
大牟田市全域

1 : 25000



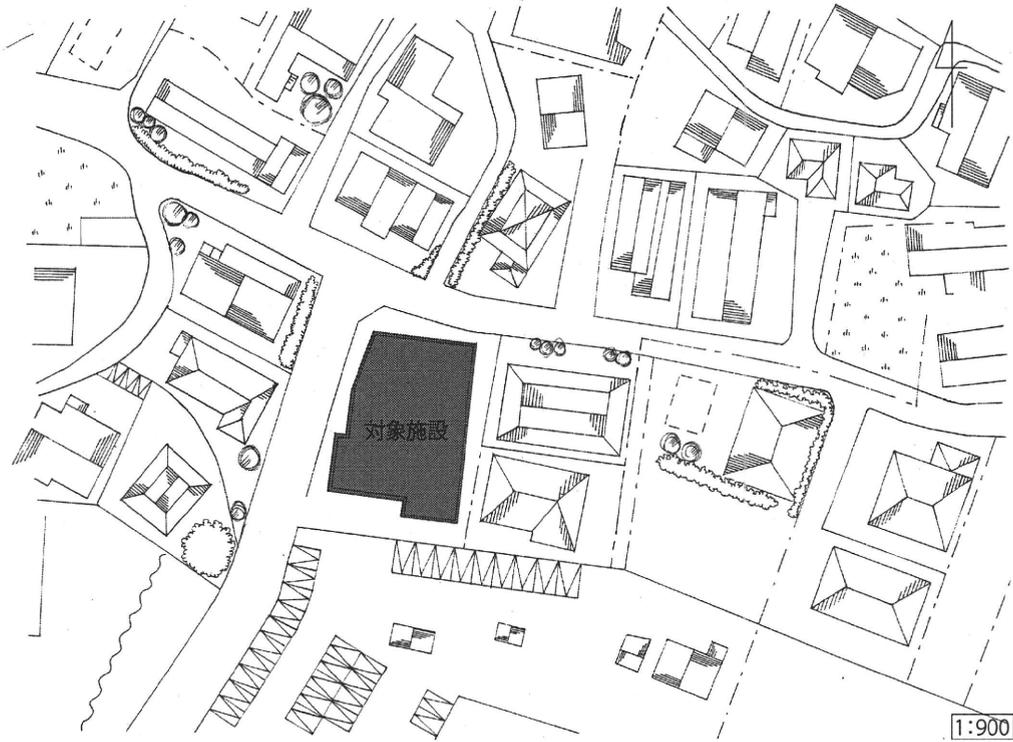
平原小校区

1 : 8000



圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	3個	3個
コンビニ	1個	1個
神社・寺	3個	3個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター	2個	2個
障害者福祉施設・市民活動団体	2個	2個
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー		
公民館	4個	4個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	2個	2個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所	1個	1個
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター	1個	1個

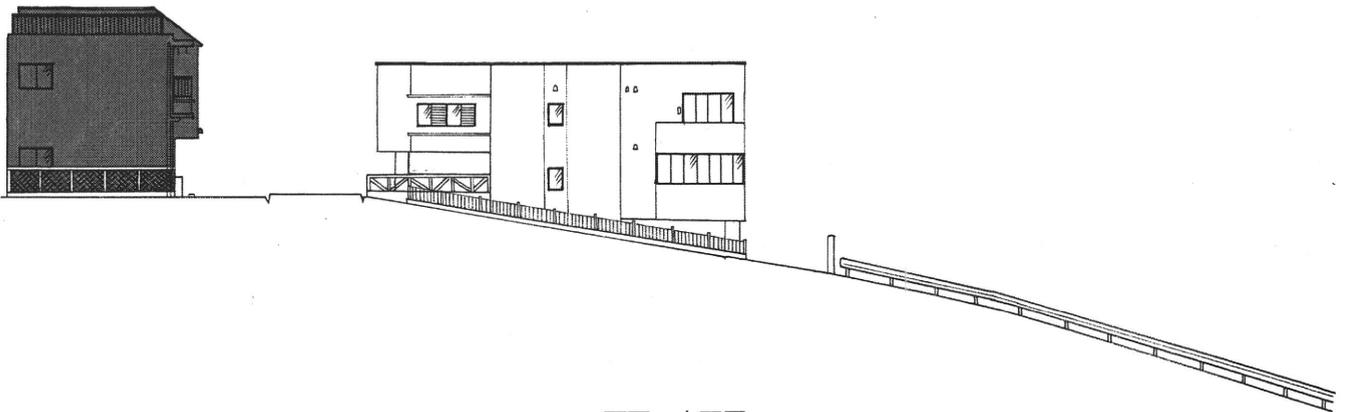
人口	5263人	老人クラブ加入率	9.8%
65歳以上の高齢者数	1703人	公民館加入率	42.2%
単身高齢者世帯数	525人	投票率	57.6%



たんぽぽ 配置図

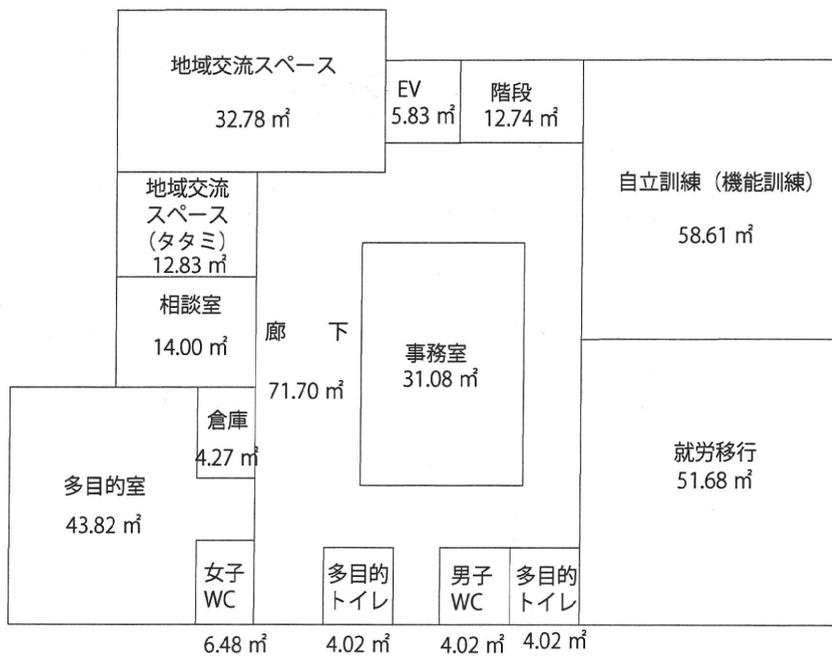


北面 立面図

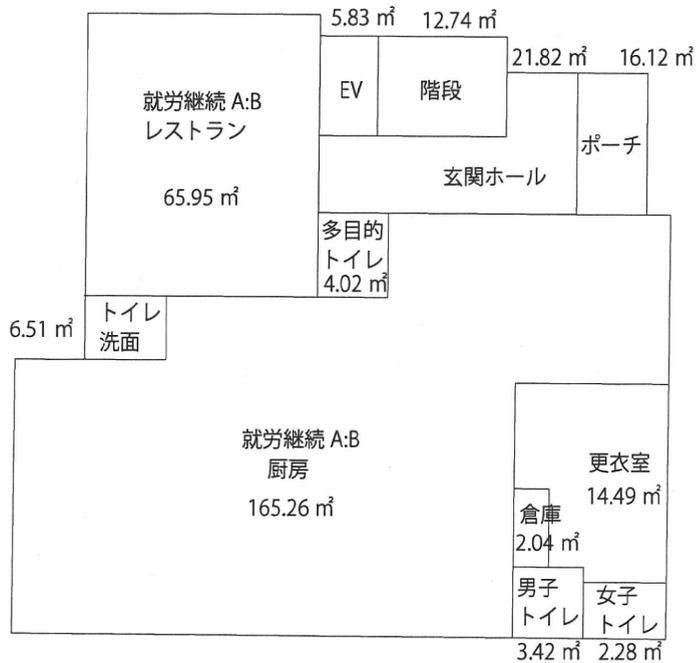


西面 立面図

たんぽぽ 立面図 1/400



3階平面図



2階平面図

地域交流スペース面積：45.61m²



①交流拠点外観



②交流拠点外観



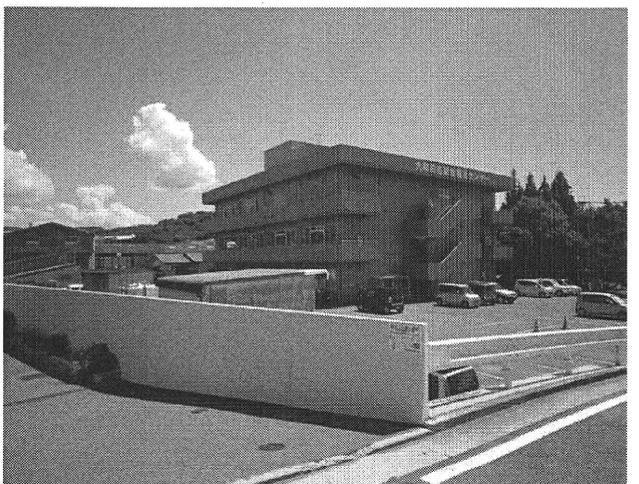
③交流拠点外観



④交流拠点外観 (右側)



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	白川校区	交流拠点名	地域交流センターしらかわ
		法人名	(医)静光園

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年11月開設	
2.	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:2992万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	無	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れにくいと思う	
その理由:住宅地の中にあり、看板等もないことから外部の方からは非常に分かりにくい。			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	3名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目	兼任	社会福祉 併設病院勤務との兼務
	2人目	兼任	社会福祉主事 併設病院勤務との兼務
	3人目	兼任	社会福祉士 併設病院勤務との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:117万円	支出:73万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	10	408	5446	2:0:8:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	8:2	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合	参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
		1:0:9	4:6:0	
定期的な活動が数多く開催されている。地域住民主体の活動が多く、オカリナ教室、フルス教室、体操、読書の会などが毎週実施されている。特徴的なのは、市からの委託事業であるよかばーい体操や介護予防教室も地域住民が主体となって運営している点にある。				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	原則として月～土 (サークル利用者と協議した場合はこの限りではない。)	開館時間	8:00～20:00
開館時の職員の常駐場所		併設病院		
8.	毎月の延利用者数	約450名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかばーい体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け、子育て世代向け、多世代向け		参加形式)事前登録制・事前登録不要の双方ともあり	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約制
	不定期の利用回数			未回答
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容	利用者数		
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場				
提供内容	喫茶無料	利用者数	約1名/日	
ボランティアの参加の有無	有	延ボランティア数	約25名/月	
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度 37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う		
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している
	各種拠点(公民館、小学校、コンビニ、スーパー等)に掲示・持ち帰り可能		
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー		有
	人数	約6名	校区活動経験
	経験豊富		
	校区での立場 公民館館長、校区社協長、民生児童委員、老人クラブ		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況 37の地域交流施設のなかでは、連携がよくできている交流拠点だと思う		
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること		
	地域交流施設として公民館に加入している 地域交流施設の事業者側のキーパーソンが公民館の役職、地区社協の役職、民児委員などを引き受けている 地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている		
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成している
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること		
	広報誌などを通じて、ボランティアや運営に関わる人を募集している。		
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。		
	事業者側が主催する各種事業で運営や企画を担ってもらっている。 事業者側と住民側による地域交流施設のための運営委員会を設置している。 併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。		
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について		
	設置の有無	校区内に小サロンを設置している	
	小サロンの数	3件	場所
	未回答		運営主体:校区住民
	開催数:1サロンにつき 月1回、15~20人程度が参加		

【地区住民のポテンシャル】

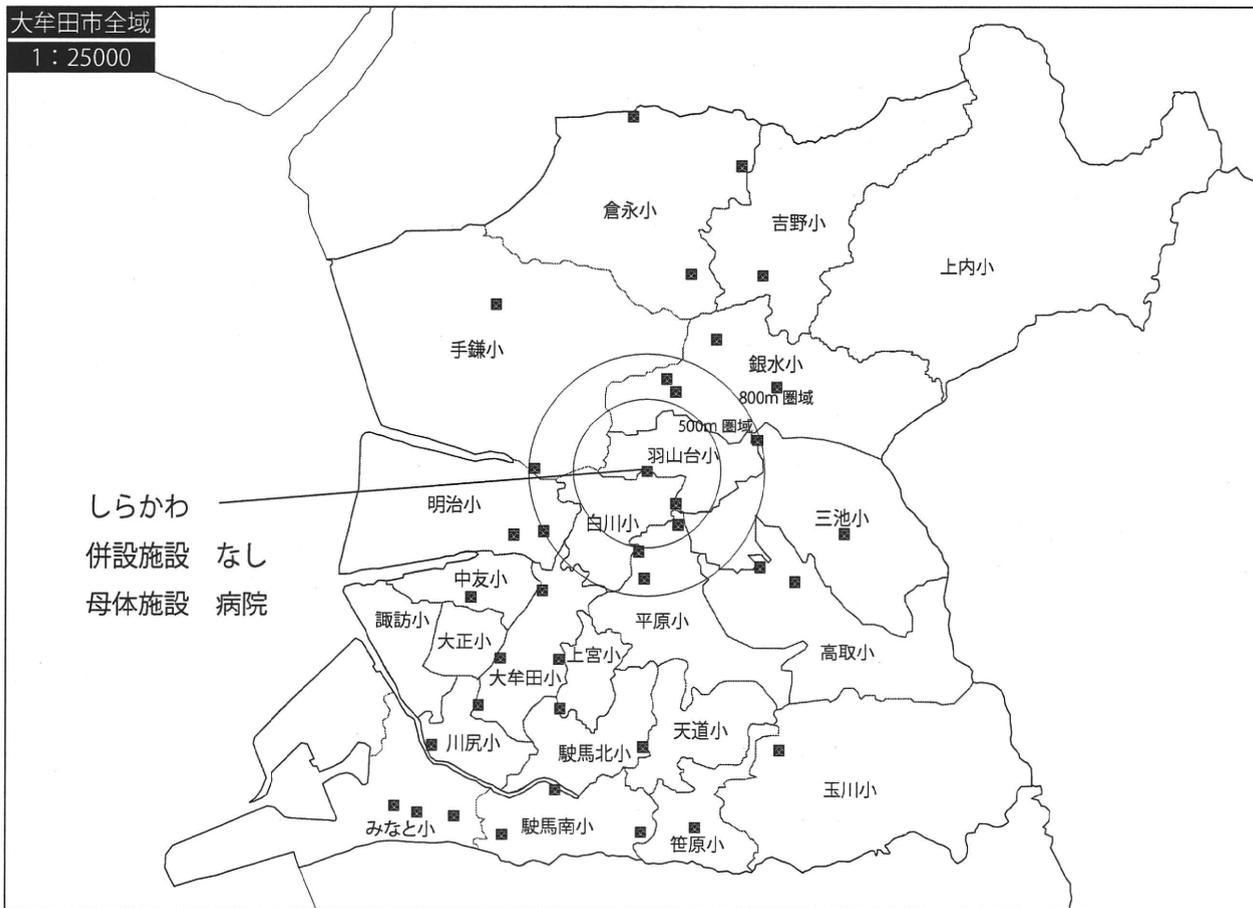
17.	地区校区の住民活動について 22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である		
18.	校区の住民活動について 22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある		
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		有
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか) 地域の民生委員の方から交流センターに『病院』からの退院後に日常生活で困っている人がいるとの連絡を受ける。連絡を頂いた民生委員と共に自宅訪問し、ボランティア団体へのボランティア要請の手続きを行った。また、合成サービスへと結びついた例がある。		

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか		
	有	有の場合	5件
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。		
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点での事業の必要性について疑問を持っていると思う		
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望 未回答		
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望 未回答		

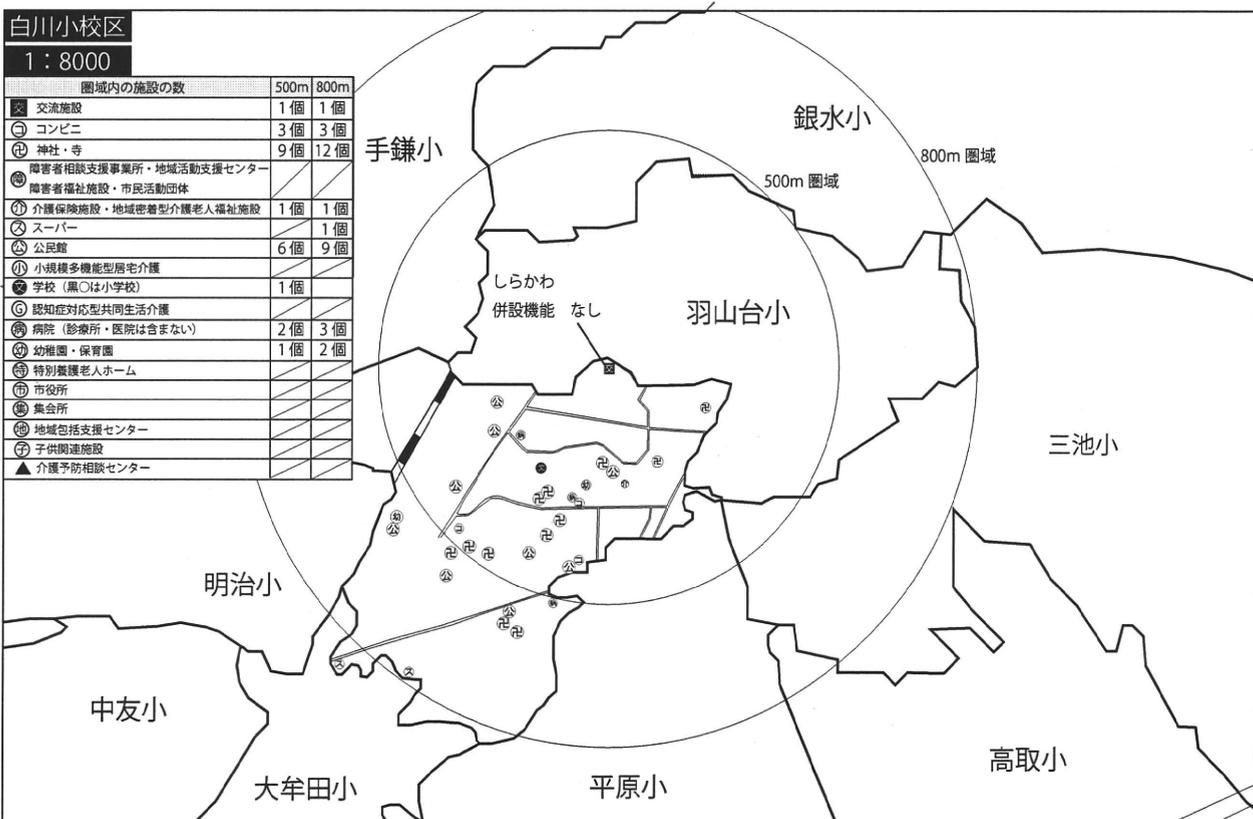
大牟田市全域

1 : 25000



白川小学校区

1 : 8000



人口	7355人	老人クラブ加入率	7.8%
65歳以上の高齢者数	2085人	公民館加入率	32.1%
単身高齢者世帯数	681人	投票率	58.9%